



# あさまる通信

第43号 2月

発行：習志野販売株式会社  
〒275-0016  
千葉県習志野市津田沼5-11-10 吉田ビル3F  
TEL 047-454-2355 FAX 047-454-2357  
URL http://www.asamaru.com/  
e-mail info@asamaru.com

※プレゼントは裏面にあります。

## 「ぶらっ」と観察会

1月8日(土)「ぶらっ」と観察会が谷津干潟で行われました。これは毎月第2土曜日に定期的に干潟の野鳥と出会う会です。当日はヒメガマ(ガマガマ属の多年草)の穂が風に飛ばされ、雪のように降る中で、18名の方が参加され、行われたのです。受付でネームプレートと干潟の略図とパンフレットを受け取ると、待ちきれない様子で観察センターの窓際の望遠鏡を覗いたりしていました。この観察会はリピーターが多く、野鳥への関心の高さが覗えます。初参加の人は会議室に集まり、13名のスタッフの紹介や今見られる鳥の説明を詳しく、そしてユーモアもまじえ、くつろいだ雰囲気を受けました。今の季節は主に冬鳥といわれているカモなどが見られます。またオオタカも羽を休ませています。

双眼鏡の扱い方を全員で受けた後、出発前に観察センターの前で記念撮影。寒さで顔もこわばりましたが、野鳥観察への期待でカメラには自然に笑顔に向けていました。



当日は野鳥が少なかったのですが、初めに出会えたのはカルガモでした。遠くの方にいたので、うまく望遠鏡でとらえることが出来ません。そこでスタッフが三脚を立てて望遠鏡を覗かせてくれました。風上に向かっているカルガモがいました。これは



北風にあたる表面積を少なくする防寒の知恵です。歩いているうちにヒドリガモやハマシギやシロチドリなど小さな野鳥を見ることが出来ました。子供が大きな声で鳥を数えたり、きちんと並んでいるカモを杭と間違えたりもしました。しかしその時、一羽のガラスが干潟に現れました。野鳥たちはたちまち逃げ惑い、四散しついに姿を消してしまいました。小さな野鳥達はオオタカやガラスの餌になつてしまつたのです。これも食物連鎖で仕方がない事なのでしょう。野鳥が見えなくなつたので、外での観察は早めに終了しました。参加者は残念そうに観察センターに戻りました。途中、ユリカモメが目の前を横切り、淡水池ではカワウが餌を捕る姿を見ることができました。本来なら真っ黒なカワウの顔に、少し白い羽が生えていました。これは繁殖期に見られる兆しだそうです。

観察センターの会議室に参加者が到着すると、鳥の名前を漢字で書くところとなるかとか、淡水池と干潟の仕組みなどの説明を受けました。例えばヒドリガモは「緋鳥鴨」と書くなど、同じ赤でも情緒のある文字が使われている事がわかりました。ユリカモメは「百合鴨」、カモなどが水上でじっとして漂っているのを「浮寝鳥」ともいいます。干潟ではヨシやヒメガマを全部刈ってしまったのは、野鳥たちの巣があり、また身を

を隠す安全な所が必要だからです。繁殖期の野鳥はオスが美しくなります。メスにいかにか好かれるかが掛かっているからです。またカモ同士の婚外受精を避けるためでもありません。違う種類のカモの子供は繁殖の能力がなくなります。つまり一代で絶えてしまうのです。それを避ける為にオスは色とりどりの羽に変化するのです。しかし美しい色になる程、目立ち危険になりますから、華麗な変身は繁殖期にだけなのです。

終了時間になると、出発前に撮った写真が全員に配られました。小さなプレゼントに、みんな大喜びでした。スタッフも参加者も「今日は寒い中、ありがとうございました」と笑顔の中で散会しました。

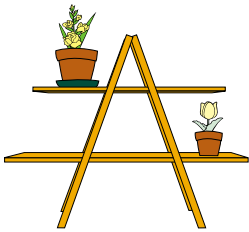
今回の「ぶらっ」と観察会」は2月12日(土)です。プロポーズをしているカモ達を見られるかもしれません。風邪をひかないように寒さ対策をとって、ぜひ参加してみてくださいいかがでしょうか。

問合先 谷津干潟自然観察センター  
電話 45418416

## あさまるinfo

### 公民館講座参加者募集

※「すのこで三角シェルフを作ろう」  
期 日：2月19日(土)・26日(土)・27日(日)  
時 間：各日午後1時～4時  
会 場：新習志野公民館  
対 象：一般成人  
人 数：30名  
材料費：2,000円(障害保険含む)  
問い合わせ先 新習志野公民館  
電話 047-453-3400(申込は2/1から)



軍手、ドライバー、2畳位のブルーシートをご持参ください。

※「幼児期の健康と仲間作り」  
期 日：3月2日(水)・16日(水)  
時 間：各日午後1時30分から  
会 場：菊田公民館  
対 象：習志野市内在住・在勤の2歳から3歳児を持つ親  
人 数：20名  
内 容：①幼児期の健康と食事&手遊び  
②野菜を使ったおやつ作り

参加費 700円(調理実習費・保険料)  
問い合わせ先 菊田公民館 電話 047-452-7711

託児あり(要予約)

※平成16年度 第18回谷津公民館バザー  
日 時：3月5日(土) 午後1時から  
会 場：谷津公民館  
問い合わせ先 谷津公民館 電話 047-452-1509

### <献品募集>

期 間：2月1日(火)から2月27日(日)まで  
場 所：谷津公民館ロビー内ボックスの中へ  
内 容：ご家庭にある不用品(食料品・賞味期限内の物、衣類・クリーニング済みの物 書籍は除きます)

## 「習志野かるたの集い

「紫陽花の花がシンボル習志野市」これは習志野かるたの45句の中の始めの句です。

今年も1月15日(土)に新習志野公民館で、「第2回新習志野かるた大会」が行われました。これは習志野かるたを通じて、習志野市を学び、ふるさとを感じて欲しいという主旨で始まったものです。

今年の出席者は23名の秋津と香澄の小学生です。ちなみに秋津・香澄地区の句としては「平和を誓う秋津公園非核の碑」香澄公園家族そろって「パーベキュー」というのがあります。ルールは高学年と低学年に分かれて優勝を競います。それぞれトーナメント戦で1位が決まります。子供達は普段は体験できない公民館の広い和室に大喜びで、かるたを取る練習をしたり、畳に寝転がったりと初めからかなり興奮していました。始めに簡単な説明を受けると2人1組で向かい合い、正座をし「よろしくお願ひします」と大きな声で挨拶をしました。



撈をしました。読み手がカラ札を2枚読んでかるた取りが始まりました。読み手が札を読むと「はい」と手が素早く伸びます。「かるた」という遊びのすがすがしい真剣勝負になりました。みんな真っ赤な顔をして、暑くて上着を脱ぐ子も現れるほど、会場は熱気があふれていました。低学年の部は香澄小学校の村田昌駿くん、高学年の部は秋津小学校の清永達郎くんが優勝しました。みんなお互いに拍手で健闘を称えていました。3時間にも及ぶかるた大会も無事終了し、参加賞を手元に元気よく帰って行きました。